

和歌山県医務課

和歌山県子ども救急相談ダイヤル #8000

令和3年度実績

■ 事業概要

夜間・休日に子供が急病になったとき、すぐに病院に行った方がいいのか、それとも様子を見て大丈夫か、看護師（必要に応じて医師）が相談に応じます。

■ 相談時間

- 平日…19時～翌朝9時
- 土日祝・年末年始（12/29～1/3）…9時～翌朝9時

■ 電話番号

- #8000（プッシュ回線・携帯電話）
- 073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）

■ 補足

このダイヤルは、あくまで保護者の方々に助言を行うものであり、診断・治療や医療機関の紹介を行うものではありません。

医療機関の紹介は、「和歌山県救急医療情報センター」で行っています。

《和歌山県救急医療情報センター》

受診可能な医療機関を24時間体制で案内しています。

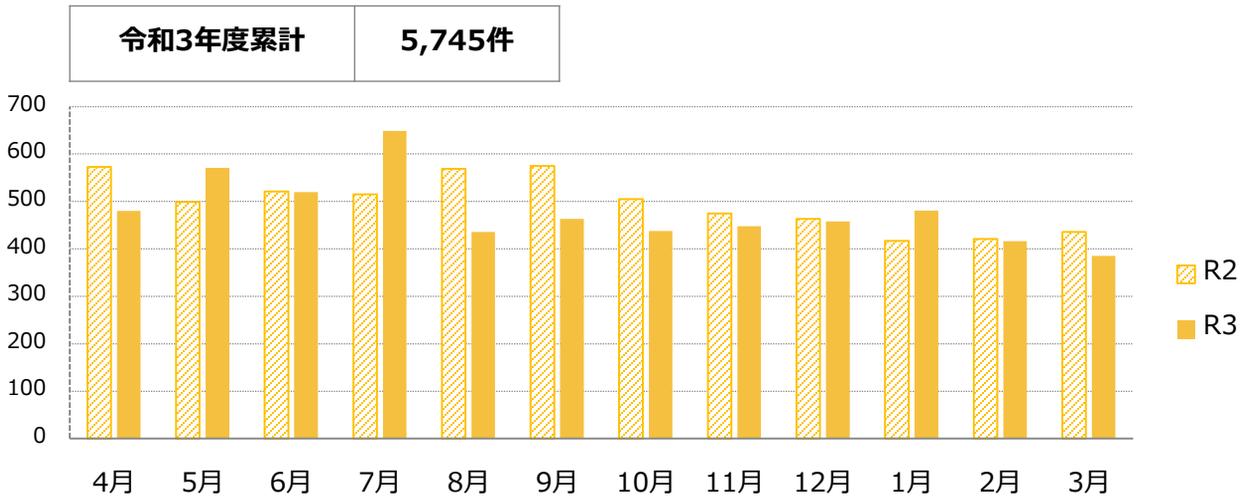
TEL:073-426-1199（いい救急）

1 相談件数

令和3年度は、累計5,745件の相談がありました。

月別では、7月が最も多く、次いで5月、6月の順で相談が多くなっています。

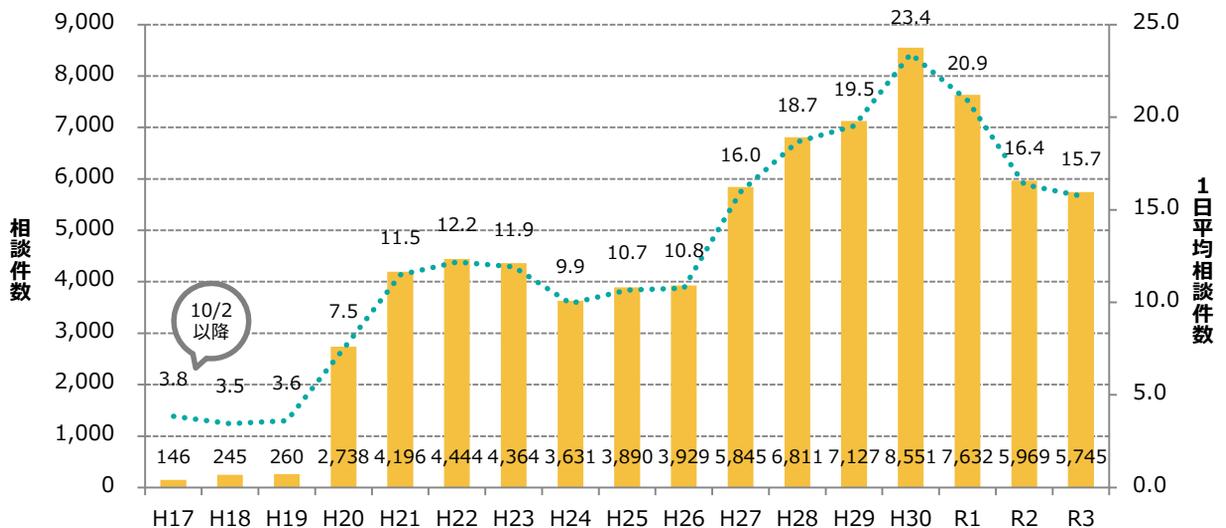
また、昨年度と比較し、7月の相談件数は大きく増加しましたが、8月・9月の相談件数は大きく減少しました。



2 相談件数の推移

相談日や相談時間の拡大により、相談件数は増加傾向にありましたが、3年連続で減少しています。

新型コロナウイルスの流行により、病気やけがの予防意識が高まったことなどが利用件数の減に影響していると考えられます。



相談
実施日

日祝・年末年始：
19時～23時

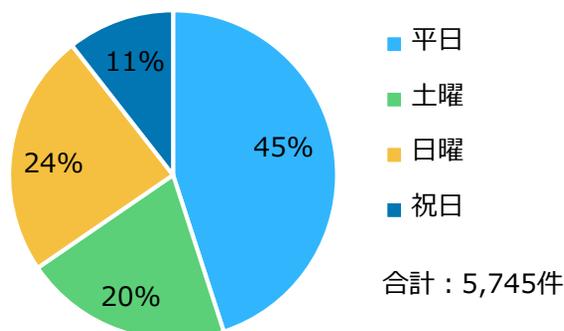
H20～相談日拡大
毎日：19時～23時

H27～時間拡大
平日：19時～23時
土日祝・年末年始：
9時～23時

H30～時間拡大
平日：19時～翌9時
土日祝・年末年始：
9時～翌9時

3 曜日別の相談比率

土日祝日の相談が5割以上を占め、ニーズが高い傾向にあります。



4 時間帯別の相談比率

19時～21時の相談が最も多く、全体の1/4を占めています。

平成30年度から延長実施した相談時間帯（23時～9時）と従来から実施していた時間帯の利用割合は昨年度より増加していますが、利用件数は昨年度より減少しています。

令和3年度

①従来から実施していた時間帯			②H30から延長実施した時間帯		
相談時間帯	件数	割合	相談時間帯	件数	割合
9時～11時	250	4.4%	23時～1時	392	6.8%
11時～13時	256	4.5%	1時～3時	277	4.8%
13時～15時	386	6.7%	3時～5時	161	2.8%
15時～17時	434	7.6%	5時～7時	204	3.6%
17時～19時	533	9.3%	7時～9時	372	6.5%
19時～21時	1,388	24.2%			
21時～23時	1,092	19.0%			
小計	4,339	75.5%	小計	1,406	24.5%
①・②の合計：5,745件					

(参考) 令和2年度

①の小計	4,541	76.1%	②の小計	1,428	23.9%
①・②の合計：5,969件					

5 相談時間別の比率

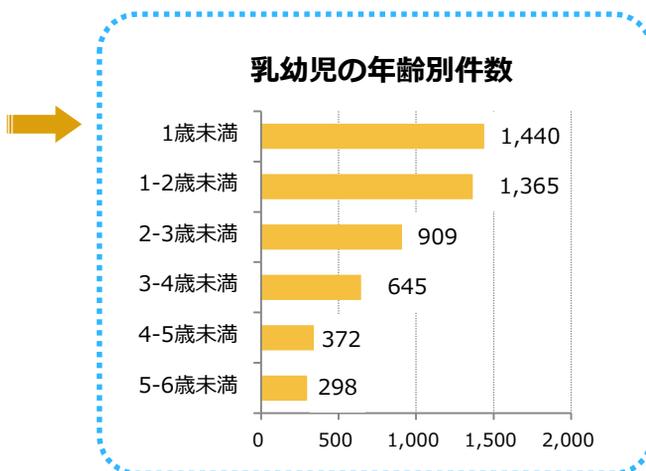
1回あたりの相談時間は、96.3%が「10分未満」です。中でも「5分未満」が半数以上を占めています。

相談時間	件数	割合
0～5分未満	3,572	62.2%
5～10分未満	1,960	34.1%
10～15分未満	179	3.1%
15～20分未満	21	0.4%
20分以上	13	0.2%
合計	5,745	

6 相談対象者の年齢構成

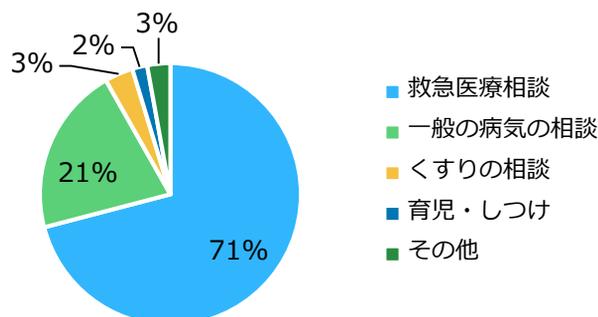
相談対象者の8割以上は6歳未満の乳幼児です。とりわけ、0～2歳未満の乳幼児に関する相談が多く見られました。

年齢	件数	割合
0～6歳未満	5,029	87.5%
6～12歳未満	645	11.2%
12～15歳未満	57	1.0%
その他	26	0.5%
合計	5,745	



7 項目別の相談内容（※重複回答あり）

救急医療相談が71%と最も高く、次いで一般の病気の相談が21%となりました。



8 症状別の相談内容（※重複回答あり）

発熱による相談が2,440件（28.3%）と最も多くなりました。続いて外傷・刺傷1,299件（15.0%）、嘔吐1,020件（11.8%）となりました。

症状	件数	割合
発熱	2,440	28.3%
外傷・刺傷	1,299	15.0%
嘔吐	1,020	11.8%
誤飲	549	6.4%
咳嗽・喘息	502	5.8%
発疹	355	4.1%
耳鼻科関連	315	3.6%
腹痛	202	2.3%
頭部打撲	165	1.9%

症状	件数	割合
下痢	140	1.6%
歯科口腔	108	1.3%
眼科関連	102	1.2%
けいれん	101	1.2%
熱傷	80	0.9%
予防接種	44	0.5%
その他	1,214	14.1%
合計(※)	8,636	

※重複回答あり

9 対応内容

全体の約3割が、急ぎの搬送要請もしくは救急受診を要すると判断される相談でした。

対応	件数	割合
119番をすすめた	46	0.8%
すぐに医療機関をすすめた	2,034	35.3%
翌日の医療機関をすすめた	1,042	18.1%
一般的な保健指導・育児相談	2,469	42.9%
その他	166	2.9%
合計(※)	5,757	

※重複回答あり

10 相談者の居住地別の利用状況

和歌山エリア（和歌山市、海南市、紀美野町）からのご利用が半数以上を占めています。

一方、紀南地方での利用が比較的少なく、地域によってニーズの差があると考えられます。

